



ニュースレター

2021年（令和3年）1月27日 グリーフワークかがわ広報部

◆理事長メッセージ◆

新年によせて

642光年が教えてくれるもの

さそり座が東の空に姿を見せ始める。朝5時前、冬の空気は冷たく澄み切っている。紺色の空に昇ってくるその姿は夏の夜空に見せる姿とは全く違う。サソリが地面から垂直に、ゆっくりと立ち上がってくるのだ。前の夜に輝きを放っていたオリオン座は、すでに見えなくなっている。

ギリシャ神話に登場するオリオンは生まれつき美貌と力を与えられた狩人である。冬の夜空のオリオンは、左手にライオンの毛皮を持ち、右手で棍棒を振り上げて、おうし座と闘う勇ましい姿で描かれる。自分に仕留められない獲物はいないと自慢する傲慢さは神の怒りをかい、神に置かれた一匹のサソリの毒によって命を奪われる。以来、オリオンはサソリを恐れ、サソリが現れる前に姿を隠してしまう。

串田孫一は著書「ギリシャ神話」の「はじめに」において、ギリシャ神話を教訓に利用しようなどと考える人がいたら滑稽なことである、わが身や身の出来事などに結び付けないで頂きたいといっている。しかしながら私は、オリオンの話は自然界における私たちの生き方に重なると思えてならない。

昨年からのコロナ禍のもとで私たちは寛容さを失った。コロナ感染に対する偏見と差別化により感染者と非感染者を分断してしまった。その結果、回復後にも感染者としての排除の烙印は消えないのではないかという不安に支配され、自分たちもそうした扱いを受けるのではないかの恐怖を生む負の連鎖が起きている。根拠のない楽観性や気休めは、負の連鎖を解消するものではない。曖昧さはますます不安を煽り、不安になれば些細なことでも過剰に反応しやすくなる。負の連鎖は、自分たちがすべてのことをコントロールできるという驕りから生み出されたものなのではないか。病者の排除という過去の過ちから学ぶどころか、ここにきてまた同じことを繰り返している。ひとつからでいい、事実を事実として科学的根拠を丁寧に説明すること、問いかけに答えること、そのためには一人ひとりが自然への謙虚な姿勢を取り戻さなければならないと思う。

オリオン座のベテルギウスと太陽系の距離は正確にはまだわかっていないが642光年ほど離れているそうである。今私たちに見えている光は642年前の光かもしれない。星の輝きはほんとうに美しく、空は大きい。夜空を探訪することは、私たちの存在が自然界のなかで極めて小さいことに気づくと同時に、この瞬間、地球とともに今生きているという実感を蘇らせてくれる。

グリーフワークかがわは、宇宙での生活を夢見る元気な少年も参加しています。こうして宇宙に心を馳せるきっかけをくださったことを心から感謝申し上げます。

*文献：ギリシャ神話 串田孫一 ちくま文庫
星座の教科書 渡部潤一監修 宝島社

2021年1月23日

認定NPO法人グリーフワークかがわ理事長
杉山洋子

報 告

◆2021年1月10日 第155回理事会◆

《審議事項》

第1号議案 会計手続きに関する事項

銀行の届出印に関することとゆうちょ銀行口座開設について会計担当からの提案どおりで了承された。

第2号議案 認定カウンセラー認定委員会運営マニュアルの策定に関する事項

GWKのミッションに立ち返り、人材育成と人材確保を目的とするという観点から、マニュアル作成を検討するという事で継続議案とすることで了承された。

第3号議案 社員アンケート調査に関する事項

理事長から示された案の「暮らしの中のグリーンワークについて」という項目での2点のみを使用し、会員の意識調査及び意識付け調査としてメールで配信する事で了承された。

第4号議案 2020年度グリーンワーク・デー街頭キャンペーンに関する事項

標記の街頭キャンペーンを3月14日（日）11：00～13：00、場所はJR高松駅前広場で昨年度と同様に行うことで了承された。詳細については引き続き次回理事会にて調整する。

◆2021年1月17日 第98回認定カウンセラー会議◆

1 各相談事業の報告

12月の相談事業について報告があった。

2 1月以降の事業計画について

実務者研修、公開セミナー、グリーンワーク・デー街頭キャンペーンについて説明があった。

3 カウンセリングの現場での状況報告と課題について

土曜ホットラインかがわとヘルプライン電話カウンセリングとの併用に関して議論を行った。

4 勉強会

「喪失と悲嘆のためのガイドブック～暮らしの中のグリーンワーク～」

- ・だれもがグリーンワークの当事者であるということ、具体的な喪失体験は個別性があるがグリーンワークという普遍的なものがこの冊子に示されている。
- ・次回からのスケジュールの確認を行った。